



▲子育て支援のレベルアップ(認定こども園の施設整備など)



▲第66回全国植樹祭(平成27年5月17日、木場潟公園)



▲加賀九谷焼展東京展(能美市・加賀市と共同開催)



▲サイエンスヒルズこまつの充実(JAXA「きぼう」モックアップ)

特別会計(7会計)

(単位：億円)

会 計 名	収入	支出	差引	事 業 内 容
国民健康保険	129.6	126.5	3.1	自営業者や退職者などの医療保険
介護保険	95.2	94.3	0.9	施設介護、在宅介護などの保険
後期高齢者医療	12.2	12.2	-	広域連合による75歳以上の医療保険
簡 易 水 道	0.4	0.4	-	小集落への給水事業
農業集落排水	5.1	5.1	-	農業集落の污水处理施設管理・整備
工業団地造成	0.8	0.8	-	串工業団地の分譲、正蓮寺エリア産業団地の造成
公 債 管 理	82.8	82.8	-	借金の返済管理
合 計	326.1	322.1	4.0	

企業会計(3会計)

(単位：億円)

会 計 名	収益的収支 (事業運営に関する収支を管理する財布)			資本的収支 (施設の建設や設備投資の収支を管理する財布)		
	収 入	支 出	差 引	収 入	支 出	差 引
水 道	26.6	22.4	4.2	0.9	6.8	▲ 5.9
公共下水道	37.2	38.7	▲ 1.5	25.5	36.2	▲ 10.7
市民病院	81.6	80.9	0.7	8.1	11.1	▲ 3.0
合 計	145.4	142.0	3.4	34.5	54.1	▲ 19.6

市を運営する会計には「一般会計」とは別に、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を運営する「特別会計」と、病院や水道など民間企業のよ

特別会計と企業会計

うに事業収益を集めて運営する「企業会計」があります。
※一般会計は、市民の皆さんが納めた税金などを使って、福祉や教育、道路や公園の整備、ごみ処理など、市の基本的な仕事をする会計です。

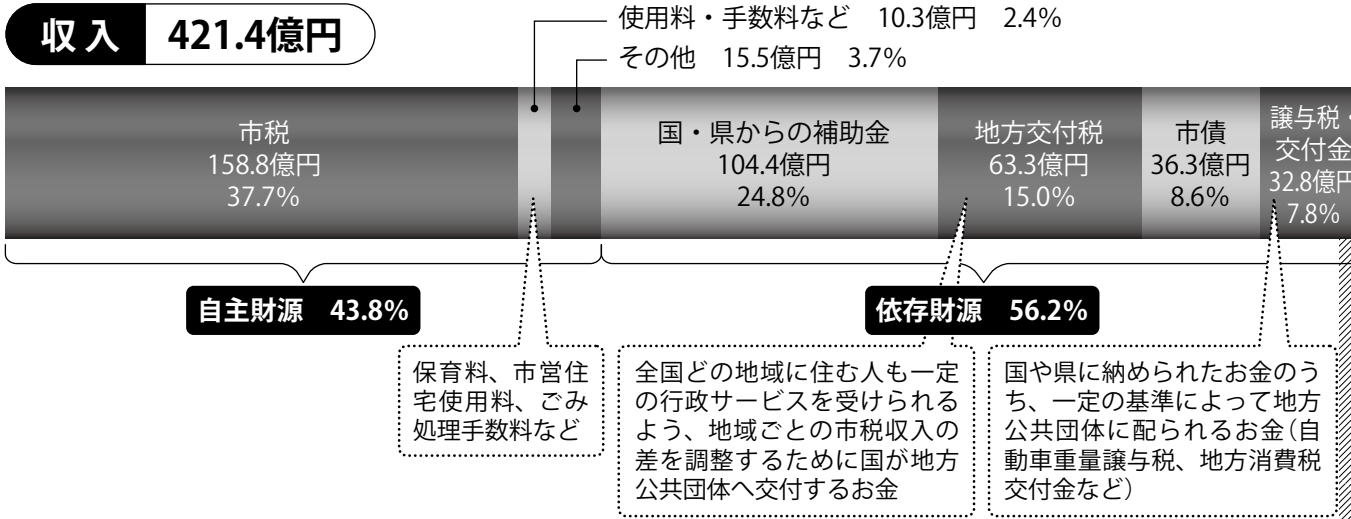
平成27年度 決算のあらましと市の財政状況

平成27年度(平成27年4月～平成28年3月)の決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

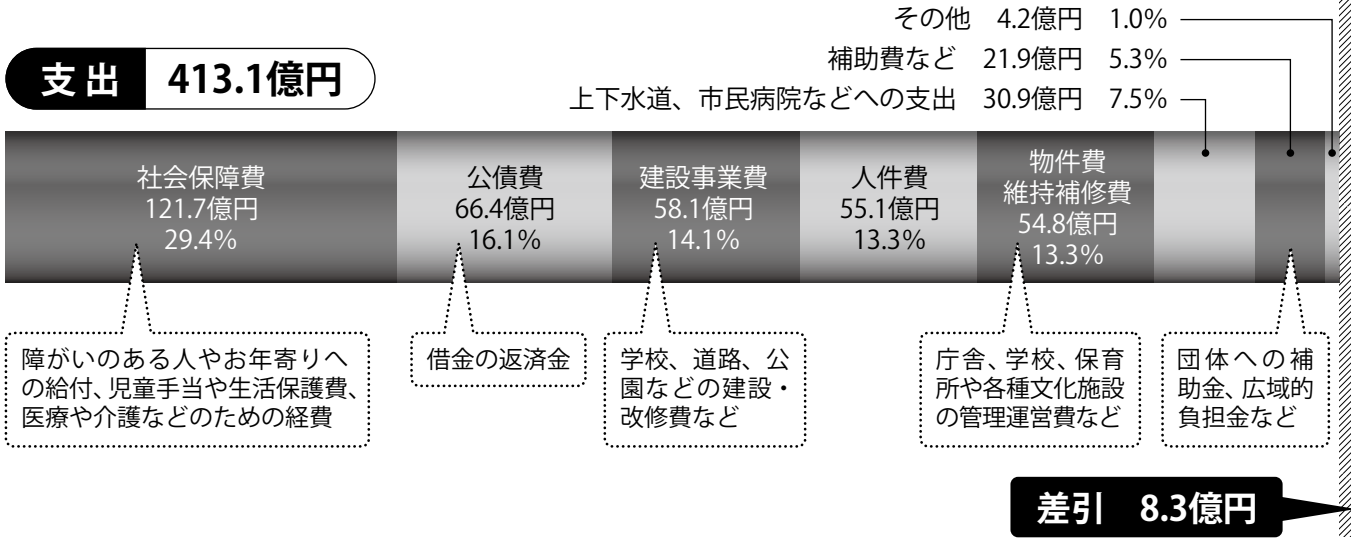
問い合わせ 財政課 ☎24・8144

一般会計決算

収入 421.4億円



支出 413.1億円



平成27年度決算の特徴

平成27年度は、北陸新幹線の金沢開業や第66回全国植樹祭の開催など、本市が「北陸の際立ったまち」としてステップアップするための大きな追い風となった年でした。
歳入では、景気の回復基調により、個人市民税が増収となったものの、税率の引き下げなどによる法人市民税の減収や、実質交付税の減収などで、歳入総額は前年度と比較して2・3億円の減少となりました。
歳出では、西南部地域内の物流交流機能を担う佐美串線などのインフラ整備のほか、新しい高等教育機関として(仮称)公立小松大学の平成30年4月開学に向けた準備を行いました。また、子育て支援のレベルアップを図るため、こども医療費や第3子以降の保育料の無料化、安全・安心のまちづくりを高める防災行政無線の整備、小・中学校体育館天井対策や体育施設の耐震化などを行いました。

※一般会計は、市民の皆さんが納めた税金などを使って、福祉や教育、道路や公園の整備、ごみ処理など、市の基本的な仕事をする会計です。

市職員の給与と職員数をお知らせします

市職員の給与は「小松市一般職の職員の給与に関する条例」などによって定められています。

1. 人件費の状況 〔平成27年度普通会計決算〕

歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
413億1,169万円	55億1,353万円	13.3%

※人件費には、退職金、共済負担金、特別職、議員に支給される給与・報酬などを含まず。

問い合わせ 人事育成課 ☎24・8021

2. 職員給与費の状況 〔平成27年度普通会計決算〕

職員数(A)	計(B)	1人あたりの平均給与額(B/A)
693人	38億6,911万円	558万円

※職員数は、一般行政、教育、消防の平成27年4月1日現在の人数です。職員給与費は、退職手当を含まない額です。

3. 職員の平均給料月額 〔平成28年4月1日現在〕

区 分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	41.5歳	310,159円

※一般行政職は、税務職、医療関係職、福祉職、消防職、企業職、技能労務職、教育職を除く職員です。

4. 一般行政職の初任給および経験年数別平均給料月額 〔平成28年4月1日現在〕

区 分	初任給	経験10年	経験20年	経験25年	経験30年
大学卒	176,700円	245,022円	348,406円	390,628円	406,675円
高校卒	144,600円	該当者なし	該当者なし	348,633円	該当者なし

5. 職員手当の状況 〔平成27年度支給割合〕

◎期末・勤勉手当

区 分	内 容		
	6月期	12月期	合計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.600月分
勤勉手当	0.750月分	0.850月分	1.600月分

※職務の級などに応じた加算措置があります。
※これらのほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当などを支給しています。

6. 特別職の給料・報酬月額

区 分		月 額	期末手当
給 料	市 長	850,500円 (945,000円)	3.15月分 (27年度支給割合)
	副市長	735,300円 (774,000円)	
	教育長	632,700円 (666,000円)	
議員報酬	議 長	620,000円	
	副議長	550,000円	
	議 員	520,000円	

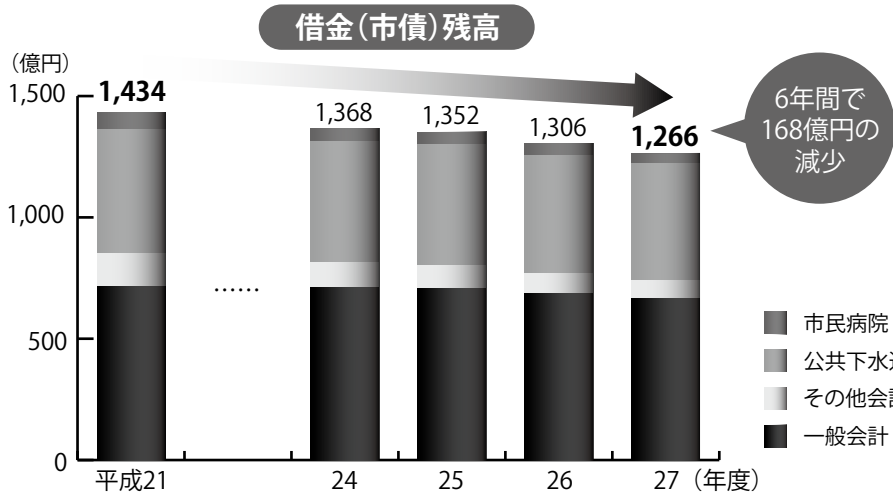
※市長は10%、副市長・教育長は5%の給料減額中です。
※()内は、減額措置を行う前の金額です。

◎退職手当

勤続年数	自己都合	定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度	49.59月分	49.59月分

7. 職員数の状況 〔各年度4月1日現在〕(単位：人)

区 分		職員数		対前年 増減数
		平成27年度	平成28年度	
普通会計部門	一般行政	424	403	−21
	教 育	136	141	5
	消 防	133	136	3
	小 計	693	680	−13
公営企業等	病 院	423	432	9
	水 道	20	22	2
	下 水 道	17	16	−1
	そのほか	35	33	−2
	小 計	495	503	8
総職員数合計		1,188	1,183	−5



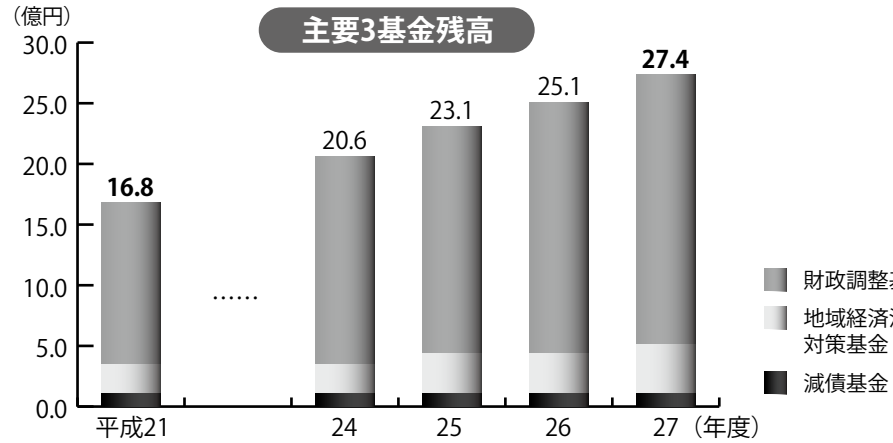
市の借金残高・貯金残高

市の借金の残高は、市債発行の抑制や繰上償還を行ったことにより、平成21年度の1434億円をピークに6年間で168億円減少しています。

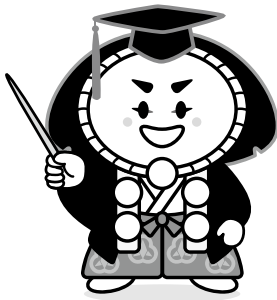
また、貯金(主要3基金残高)は、効率的な予算執行に努めたことにより、前年度に比べて2・3億円の積み増しを行いました。

今後、突発的な財政需要に対応できるよう貯金を確保しつつ、将来負担の軽減に取り組みます。

※主要3基金とは、財政調整基金、地域経済活性化対策基金、減債基金を指します。



決算の内容を詳しく知りたい人は、冊子「決算のあらまし」を作成していますので財政課までご連絡ください。市ホームページでもご覧いただけます。



平成27年度普通会計 全国類似都市・県内他市との比較

		小松市	類似88都市 平均	小松市の 順位
			県内11市 平均	
財政力の強さ (財政力指数)	必要な財源をどれだけ自力で調達できるかを表す指数。数値が大きいほど財政力が強いことを示す。	0.693 (0.685)	0.747 (0.742)	53位 (53位)
			0.542 (0.536)	3位 (3位)
財政の弾力性 (経常収支比率)	市税などの経常的な収入に対する経常的な経費の割合。数値が大きいほど財政の弾力性が低く、自由な政策に使えるお金が少ない。	92.8% (92.4%)	89.9% (91.2%)	64位 (57位)
			90.9% (91.2%)	8位 (8位)
収入に対する 借金返済の割合 (実質公債費比率)	収入額のうち借金の返済に使った金額の割合。数値が大きいほど借金返済の負担が重い。	15.7% (16.1%)	6.5% (7.1%)	87位 (85位)
			11.5% (12.0%)	11位 (10位)
収入に対する 借金残高の割合 (将来負担比率)	収入額に対する市債などの負債残高の割合。数値が大きいほど将来支払う負債の残高が多い。	168.8% (186.2%)	39.1% (58.8%)	87位 (87位)
			78.9% (88.4%)	11位 (11位)

※普通会計とは、地方公共団体ごとに会計の分類が異なるため、一定の基準で比較できるようにしたものです。小松市の場合は一般会計に当たります。
※()内の数値・順位は、平成26年度決算のものです。